



# 議会だより

第54号

子どもの笑顔が未来に続く  
幸せ実感都市 木津川

## 木津川市議会



コロナ感染症対策を審議	……本会議・臨時会	…… 2~3
令和元年度決算を認定	……決算特別委員会	…… 4~5
太陽光発電抑制条例を可決	……常任委員会	…… 8~10
17人が市政を問う	……一般質問	…… 12~20
12月議会予定		…… 21

### コロナに負けるな みんなでがんばろう！

いづみ保育園  
南加茂台保育園

# ライン整備進める



ICTを活用した授業(木津南中・山城中)

7月15日、臨時会を開会。議案2件を審議し、すべての案件を可決した。  
 9月定例会は、8月31日から9月29日まで、30日間の会期で開催。  
 承認1件、認定10件、議案11件、議員提案3件、請願1件を審議し、  
 議員提案2件、請願1件を除き、承認、認定、可決した。

## 小中学校通信ネットワーク環境整備

市立小中学校に充電保管庫の設置・校内LANの整備を行うため2億2770万円を株式会社ライオン事務器と契約。

全員賛成で可決

## 城山台小学校管理備品の買入れ

増設する16教室分の児童用の机・椅子などを1342万円をタカダ事務機株式会社と契約。

全員賛成で可決

## 中型バス2台購入

城山台小体育授業で城社公園グラウンド送迎のため45人乗りバスを279万円を寺村光夫商事株式会社と契約。

全員賛成で可決

## 元年度一般会計決算

収入284億7376万円、支出は278億2597万円。  
 実質収支4億1706万円の黒字。

### 反対討論

城山台小の児童急増対策として増築校舎設計委託段階で、当事者の児童保護者に何の説明も行わなかったことは、独断的・市民軽視で、反対。

山本のぶ

### 賛成討論

実質単年度収支は2年連続の黒字。財政調整基金を取り崩したがそれを上回る積立がされた。住み続けたい街に向けての

財政運営であり賛成。

高岡 伸行

### 反対討論

消費税10%とコロナ禍で暮らしと営業は大打撃。市の対策は不十分で市民と職員にガマンと負担を強いた。城山台小の課題には分離・新設が必要。

宮嶋 良造

### 賛成多数で認定

(賛成15人・反対4人)

## 元年度 後期高齢医療決算

収入9億4044万円、支出は9億925万円。  
 実質収支3119万円の黒字。

# コロナ禍で学校オン

**反対討論**

保険料軽減措置を連続してかつ全面的に縮小した結果、30年度を上回る黒字決算。高齢者の負担を増やす今のありかたを批判し、反対。

酒井 弘一

**賛成討論**

医療費が増加傾向の中、健全かつ安定した会計運営を確保している。世代間の公平を図る上で、軽減特例の見直し等、国の制度改正は止むを得ない。

谷口 雄一

**賛成多数で認定**

(賛成15人・反対4人)

**元年度介護保険決算**

収入49億7145万円、支出は48億9733万円。実質収支7411万円の黒字。

**反対討論**

利用料3割負担の対象者は118人。「保険あ

って介護なし」で利用制限と悪化につながる。市は改善するためにも実態を把握すべきで反対。

酒井 弘一

**賛成討論**

地域密着型サービスをはじめ、重度化防止を目的とした予防や生活支援事業の実施など、市内の高齢者が安心して暮らせる内容であり賛成。

大角 久典

**賛成多数で認定**

(賛成16人・反対3人)

**2年度一般会計補正**

新型コロナウイルス感染症拡大防止の追加対策、キャッシュレス決済の導入、テレワーク環境の構築など。また、事業の見合わせや減少分の整理を行った。

**全員賛成で可決**

**7月臨時会**

**5000円分の商品券を全市民に**

補正予算は7億1387万円を増額。市の独自施策として、全市民に市内店舗で利用可能な5000円分の商品券を配布。国の持続化給付金などの対象にならない事業者に10万円の支援金を給付。



また、4月27日時点で住民登録がされている妊婦で、3年3月31日までの出産を予定している方に、10万円を給付する妊婦特例給付金事業など。

**全員賛成で可決**

**太陽光発電設備の設置抑制へ**

市民の良好な環境を守り、安全で安心な生活を確保するため、無秩序な太陽光発電設備の設置を抑制する条例を制定。

**全員賛成で可決**

**元年度決算審査報告(要約)**

審査に付された各会計の元年度歳入歳出決算書等は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は適正に表示、処理されていると認められた。西井代表監査委員

**その他の決算状況**

(万円未満の金額は切り捨て)

公営企業会計		収入額	支出額
水道事業	収益的収支(税込)	18億7504万円	17億8773万円
	資本的収支(税込)	2億1073万円	5億4287万円
公共下水道事業	収益的収支(税込)	23億8337万円	23億4305万円
	資本的収支(税込)	5億1131万円	10億4272万円

**主要財政指標**

区分	令和元年度	平成30年度
財政力指数(3カ年平均)	<b>0.647</b>	0.653
	1に近いほど財源に余裕がある	
経常収支比率	<b>92.6%</b>	93.6%
	財政の弾力性を判断する指標	
実質公債費比率(3カ年平均)	<b>9.1%</b>	9.6%
	実質的な借金の比率	

# ぎ国道重複解消へ

## 決算特別委員会

決算特別委員会は、議長と監査委員を除く議員の半数9人で、9月18日、23日、24日の3日間、元年度一般会計歳入歳出決算の審査を行った。

収支は6億4779万円で、翌年度繰越額2億3073万円を引いた実質収支は4億1706万円の黒字となった。

基金残高(貯金)は104億5711万円で、地方債(借金)と債務負担行為の残高は371億1425万円(前年度比1億8986万円増)となった。

経常収支比率は92.6%で、前年度比1ポイント改善した。財政力指数(3カ年平均)は0.647で、前年度を0.006ポイント下回った。

### 主な質疑

(市長直轄組織・マチオモイ部・総務部他)

LED化した防犯灯は

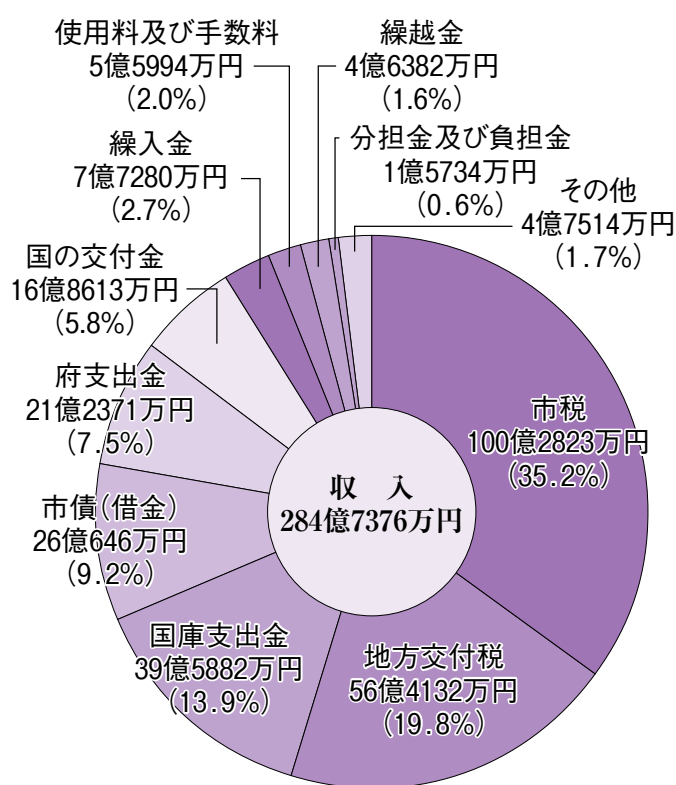
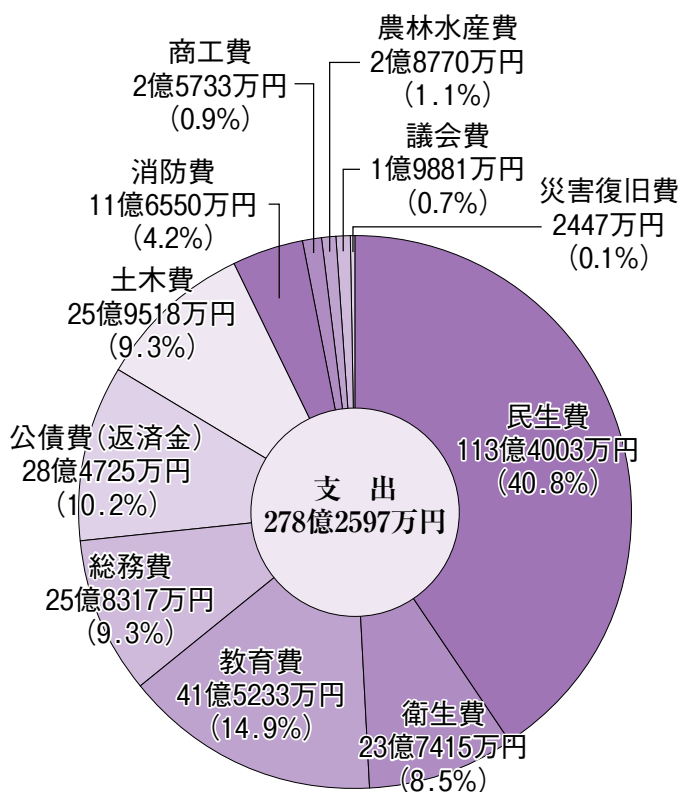
Q 防犯灯のLED化の効果は。

A 平成30年度比76.7%節電、令和元年度比23%節電。

職員の健康管理は

Q 健康診断で要精密検査の状況は。また年休の取得は。

A 234人。職員の49.1%が該当し、若い男性の再検査の受診率が低いので上げていきたい。年休の平均取得日数は11.9日で全国平均より高い。



(万円未満は切り捨てのため合計金額は一致しません。)

# 令和元年度決算 木津川兩岸をつな



3月に開通した東中央線・木津川橋

## (市民部・健康福祉部)

### 循環型社会推進基金

**Q** 基金は2年目で900万円を超えた。市民にもっと還元すべきでは。

**A** ごみ減量化の活用方法を広げていきたい。

### マイナンバーカード

**Q** 市の普及率はどうか。

**A** 普及率は14・01%。

昨年12月から急速に普及が進み、特に3月は479人が取得した。

### 福祉タクシー券

**Q** タクシー券の利用は

年々低下し、予算を大きく下回っている。ガンリオン券を認めるなど工夫を。

**A** 昨年は対象者969人のうち594人が申請。

ガンリオン券は他市で例はあるが考えていない。

### 民生委員経費の府負担

**Q** 民生委員の活動費は

府負担882万円、市負担420万円。特に推薦

会は全額を府が負担すべきだ。

**A** 府へ増額を要望する。

## (建設部・教育部)

歩道「木津川台線」の  
今後は

**Q** 決算が21万円になった理由と用地買収は。

**A** 入札不調が2度。昨年12月に設計業者が決まり、現在作業が進んでいる。設計が完成したら必要な用地が定まるので買収にかかる。

### 加茂駅東西連絡通路

**Q** 窓が汚いままでクモ

の巣も目に付く。どんな清掃をしているのか。

**A** 窓は年6回清掃の契約。変更が難しく職員でも気を付ける。

**Q** 家庭的保育の決算が予算を大幅に下回った理由は。

**A** 3カ所5人ずつ、計15人の定員だったが、入所が13人とどまった。

## 討論

### 反対討論

行財政改革の名で市民負担の増加、自衛隊での新任研修継続等に反対。

### 賛成討論

2年連続の黒字決算。子どもを育む施策を進め、道路網整備などを評価。

### 賛成多数で認定

## 主な事業の決算額

(令和元年度一般会計)

- ・新学校給食センターの建設 15億3047万円
- ・城山台児童クラブ2号館の建設 1億4330万円
- ・城山台小学校校舎増築設計 2581万円
- ・プレミアム付き商品券発行 5813万円
- ・加茂人権センター耐震補強と小谷児童館との複合化等改修 1億4241万円
- ・東中央線整備、天神山線道路改良 1億9962万円
- ・道路照明灯のLED化 5190万円

(万円未満の金額は切り捨て)

委員 長	酒井 弘一
副委員 長	大角 久典
委員	兔本 尚之
委員	谷口 雄一
委員	長岡 一夫
委員	高岡 伸行
委員	炭本 範子
委員	西山 幸千子
委員	河口 靖子

# 感染症予防の追加対策に予算計上

## 補正予算特別委員会

9月10日に委員会を開会。一般会計予算を1億21万円増額し、377億3503万円とするもの。全員賛成で可決。

### 主な質疑

**コミュニティバスの抗菌対策**

**Q** 抗菌コーティングの耐用年数は。  
**A** ほぼ永久的と聞いている。

**Q** コミバスと路線バスも対象とあるが、奈良交通の補助は何台分か。  
**A** 走行距離を按分して補助する予定。施工済みシートとホームページで周知を行う。

**備蓄用マスク購入**

**Q** 備蓄用のマスクは、コロナ対策での使用枚数と現在の保有量は。  
**A** 当初16万5千枚のマスクを備蓄していた。感染症拡大防止のため医療機関、保育園等に配布。その後、寄付もあり、今回5万枚購入することにより、約13万枚のマスクを備蓄できる。

**保健事業・介護予防等 一体的実施事業**

**Q** 事業内容は。  
**A** 糖尿病重症化予防としてハイリスクの方に対する個別指導とともに、集いの場に出向いて行きフレイル予防等の健康教育を行うもの。

**乳幼児健診時の感染対策**

**Q** オゾン除菌脱臭器等の購入を含め、健診会場の環境改善をどのように進めるのか。  
**A** 乳幼児前期・後期健診は医療機関で個別健診とした。

**集団検診は、人数制限をし、車での待機などの対策を講じている。他にも呼出ベルなども**

活用し、更なる環境改善につなげたい。

**Q** 予防接種の方法は。

**A** 無償で、生後6週目以降の乳幼児に接種し、ワクチンの種類によって2回ないし3回接種する。

**修学旅行の感染対策**

**Q** 行き先の変更と日帰りにした理由は。  
**A** 学校ごとに異なるが、感染者の多い場所は避け、丹後や飛鳥地方などを候補地としている。

宿泊は、入浴時に密になる恐れや、発熱者が出た場合の対応などが困難であり、日帰りで行うことでリスクを軽減する。

**Q** バス移動での座席の配置は。  
**A** 横一列に3人座るところで密を軽減する。



抗菌対策されるコミュニティバス

**Q** 導入する場所は、また効果は。  
**A** 市役所内の7カ所の窓口において手数料の支払いができる予定。非接触と市民サービスの向上が図られる。

### 補正予算第6号の主な事業

可動式教育用コンピュータ(前倒し整備)	2685万円
学校再開に伴う感染対策・学習保障支援	2260万円
各種子育て支援事業の感染症対策	2123万円
住居確保給付金事業(生活困窮者自立支援事業)	908万円

委員長	玉川 実二
副委員長	高味 孝之
委員	谷口 雄一
酒井 弘一	
大角 久典	
伊藤 紀味枝	
炭本 範子	
福井 平和	
西山 幸子	
倉西 克伊	

# 請願

コロナ禍のもと子どもたちの命を守り、豊かな学びの保障を求める

請願者 木津川市いきいき子育てネットワーク  
紹介議員 西山幸千子  
山本しのぶ

①新型コロナウイルスから子どもたちの命と健康を守るためにも、少人数学級を国に働きかけを。  
②子どもたちの豊かな学びを保障するため、教員の増加を国に求める。

## 賛成討論

木津川市議会では意見書を国に提出する事で、少人数学級と教員の増員を前に進める意思があることを市の総意として示すべきであり、賛成。

山本 しのぶ

賛成少数で不採択  
(賛成6人・反対13人)

# 意見書

コロナ禍のもと子どもたちの命を守るため、学びの環境整備を求める

提出者 西山幸千子  
賛成者 山本しのぶ

子どもたちの不安を取りのぞき豊かな学校生活が送れるよう、国は、少人数学級の実現とそれを可能とする教員の確保など、学校教育環境の整備を早急に図ることを強く要望する。

Q コロナ禍の中で、クラスの半数は対面授業で、半数はオンライン授業に分ける対応が必要だと思いが、見解は。  
A 密を回避するためにクラスを2つに分けて対応することはない。少人数学級が必要。

賛成少数で否決  
(賛成6人・反対13人)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める

提出者 福井 平和  
賛成者 森本 隆  
高味 孝之 酒井 弘一  
柴田はすみ 山本しのぶ

長期化する感染症の影響により3年度の地方財政の急激な財源不足が予想されるため、地方の財政対策および税制改正を国に要望する。  
① 地方税、地方交付税などの一般財源の確保。  
② 地方交付税機能が適切に発揮できるよう総額を確保。  
③ 地方税の大幅な減収に対応できる減収補てん措置。  
④ 固定資産税制の根幹に影響する見直しは行わないこと。

全員賛成で可決

国民のいのちと健康を守るために医療機関に必要な財政支援を求める

提出者 酒井 弘一  
賛成者 長岡 一夫  
山本しのぶ

国は、国民の命と健康を守る医療機関の経営を守るため前年同月の収入を保障するなど、必要な財政支援を求める。

Q 国では、予備費から1.2兆円の医療支援のための予算が閣議決定されたが、どう評価しているか。  
A 現場をよく分かっている中での決定で、少ないと思う。

賛成少数で否決  
(賛成8人・反対11人)



新型コロナウイルス感染症により市財政にも影響が予想される(城社公園から見た市内)

## 城山台小の急増対策

### 総務文教委員会

9月4日、16日に委員会を開会し、認定4件、議案6件、請願1件を審査した。

**全議案認定・可決  
請願1件不採択**

#### 市税条例の一部改正

**Q** 「ひとり親」の範囲が広がるが、その判断基準は。

**A** 未婚も含め、ひとり親の認定は、住民票と児童扶養手当で確認をする。

**全員賛成で可決**

グラウンドへの体育の送迎を、2年目には空き時間に有効活用できるような考える。

**Q** リースの考えはなかったのか。

**A** 2社からヒアリングし、購入が有利と判断。

**全員賛成で可決**

#### 城山台小の中型バス購入

**Q** 車両の空き時間の活用は。

**A** 1年目は、城址公園

本議案は議案50号として提案されたが、根拠条

#### タブレットの充電保管庫等購入

文の訂正により撤回され、再度53号として9月16日に改めて委員会に付託された。

**Q** 充電保管庫は重くなるが安全対策は。

**A** タブレットが44台保管でき、132kgとなる見込み。教室の強度を確認して設置する。

**Q** 導入日程は。

**A** 長期休業などを使って、1月末までに設置予定。1月からは小6、中3が優先的に使用できる。

**全員賛成で可決**

#### 城山台小増築に伴う家具・インテリアの購入

**Q** 何教室分の購入か。また、何年先まで見越しているのか。

**A** 16教室で560人分。4年度まで対応。

**Q** 入札率が低いが、予定価格の積算方法は。

**A** 定価により積算。

**全員賛成で可決**



城山台小学校の増築工事(第1期)

#### コロナ禍のもと子どもたちの命を守り、豊かな学びの保障を求める請願

請願者から意見陳述後、質疑を実施。

**賛成少数で不採択**

○コロナ禍で特にみんなが願う子どもの教育環境を整える内容で賛成。

#### 賛成討論

○国の諮問会議で既にコロナ禍では少人数学級と示されている。  
○行政や全国議長会などで少人数への取り組みが進んでおり反対。

#### 反対討論

質疑の後、自由討論を行った。

**Q** 欧米諸国から見ても日本の1クラスの児童数は多い。請願者が要望する具体的な児童数は。  
**A (請願者)** 願わくば20人程度だが、教員・財源等の問題もあり、早急に少なくとも30人。その後、速やかに20人程度へ向け取り組んでほしい。



# 介護保険料の減免特例

## 厚生委員会

9月7日、委員会を開会し、認定3件、議案3件を審査した。

全議案認定・可決

### 新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料減免

**Q** 具体的な申請方法や期限など住民への説明は。  
**A** 新型コロナウイルス感染症のパンフレット、ホームページ、広報11月号にも掲載する。

また、既に申請された方には決定次第連絡する。  
**Q** 減免は、何人を想定しているのか。  
**A** 該当する全ての方が適用できるように案内していく。

### 全員賛成で可決

### 元年度国保決算

**Q** 予防のための新たな取り組みは。  
**A** 健康増進につながる事業や特定健康診査の受診率と特定保健指導の実施率の向上に向け、重点的に取り組む。

また、既に申請された方には決定次第連絡する。  
**Q** 実施率向上の方策は。  
**A** 2年度から特定健康診査を無料化。集団検診も実施することで、受診率の向上につなげたい。また、保健師から電話勧奨を実施する。

**Q** 特定保健指導実施率向上に向けて、家庭訪問



感染症対策進む(庁舎入口に顔認証式の温度計設置)

**Q** 特定保健指導実施率向上に向けて、家庭訪問  
**Q** 保険料は増加し、1人あたりの保険給付費は増加しているが分析は。

は行わないのか。  
**A** 保健師等が個別訪問する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、電話対応となった。また、基金

### 全員賛成で認定

**Q** 保険給付費の増加は、医学の進歩等が要因。適正な医療を受けることで、健康になれる。ただ基金を繰り入れるなど、厳しいものはある。  
 今後、国の制度も活用し、対応していく。

### 元年度後期高齢医療決算

**Q** 被保険者数が増え、保険料が前年度より増えている。被保険者数より保険料の伸びが大きい要因は何か。  
**A** 保険料の軽減特例が段階的に見直されたことが要因の一つと考える。

**Q** フレイル予防の取り組みは。  
**A** 国保の取り組み実績を踏まえ、糖尿病重症化予防や、フレイル予防に向けた健康教育事業を予定している。

### 反対討論

決算から、軽減変更の影響が明らか。支援が減っていることに反対。

### 賛成多数で認定

### 元年度介護保険決算

**Q** 負担割合3割の人数は。また介護サービスを

利用できているのか。  
**A** 3割負担の方は118人。

### 反対討論

国の言うままに利用者負担を3割に引き上げた。改めるよう求め、反対。

### 賛成多数で認定

### 2年度国保補正予算

**Q** 国からの災害臨時特例補助金の内容は。  
**A** 新型コロナウイルス感染症にかかる保険料減免の6割が交付される。

### 全員賛成で可決

# 太陽光発電 抑制条例 可決

## 産業建設委員会

7月15日臨時会、9月8日  
に委員会を開会し、認定2件、  
議案2件を審査した。

全議案認定・可決

### 7月15日(臨時会)

#### 太陽光発電設備条例

7月7日に「太陽光発電施設と自然環境等の保全との調和に関する条例(案)」のパブリックコメントに対する回答の報告を受けた。

7月15日に委員会に付託された「太陽光発電設備に関する条例」について、審査した。

**Q** 総合計画では、再生可能エネルギーに積極的に取り組むとあるが、市の考えは。

**A** 東日本大震災以降、国の方針で再生可能エネ

ルギーも活用。

府でも家庭の太陽光発電装置に補助金も出しており、市も再生可能エネルギーは重要だと考えている。

**Q** 市民の願いである禁止区域の設定をどのように条例に反映させたのか。

**A** 抑制区域を設け、同意を必要とした届出制の同意条例である。

**Q** 条例で規定されない500㎡未満の事業で放射光などが眩しいなどで住民の反対があった場合の対応は。

その際、意見を聞いたにもパブリックコメント

トで規定されていた審査会は残すべきでは。  
**A** 財産権、営業権の関係もあり、規制とならぬが、できる限り行政として関わっていく。  
顧問弁護士や国・府などの関係機関からの意見を聞き解決が図れると考える。

**Q** 公布の日はいつか。  
**A** 議会可決後、速やかに公布する。

### 全員賛成で可決

### 9月8日(定例会)

#### 元年度下水道事業決算

**Q** 未接続世帯数は。また、助成制度の見直しは。  
**A** 1773世帯、4204人。

**Q** 公平性の観点から見直しは考えていないが、全体の整備が完成後、再検討も必要。

**Q** 企業債償還や整備事業費の今後は。

**A** 昨年度がピークで今後減少。施設更新が今後の課題で投資の平準化を図る。

**Q** 監査委員から、使用料のあり方の検討と事業全般の見直しの指摘があるが。

**A** 当面の課題は使用料単価125・18円と処理原価150円の差額。維持管理費の削減や水洗化率アップなど収益の向上に努める。

### 全員賛成で認定

#### 元年度水道事業会計決算

**Q** 奈良市からの受水量が増えているが。

**A** 夏場だけ奈良市から増量することで、府営水の受水量を据え置き、受水費を抑制できる。

**Q** 入札の最低制限価格を見直す必要があるのではないか。

**A** 国の基準を採用。他

市では最低制限価格を事前に公開しているところもあり、研究したい。

**Q** 府水道事業広域的連携等推進協議会での議論と今後は。

**A** 人口増では安定した経営ができるが、将来、

人口が減少になると単独で運営できるか議論が必要となる。

学研3市町は単独運営できるが、人口減少に向けたあり方を今から考えておく必要がある。

### 全員賛成で認定



広域的連携等推進協議会(南部圏域)

# 組合議会報告

## 元年度決算を認定

(京都地方税機構)

8月7日、定例会開会。議案3件、決議案1件を審議。

「新型コロナウイルス感染症の影響をふまえたより丁寧な対応を求める決議案」を審議。

副広域連合長に古川博規氏(府副知事)を選任。

賛成少数で否決

監査委員に篠塚信太郎氏(京丹波町議)を選任。

元年度決算を認定

(加茂笠置組合)

全員賛成で同意

元年度一般会計決算は収入25億4125万円、支出25億4026万円。

8月26日、定例会開会。認定1件、議案1件を審議。

収支99万円の黒字。

移管額171億5300万円に対して徴収を進め、88億4000万円を

3月の町長選挙に伴い、中淳志町長と西岡良祐氏(笠置町議)を紹介した。

収納した。

収納率は51・5%で、

前年度比3・7ポイント

低下。平成21年に機構が

発足して以降、初めて前

元年度決算は収入19

71万円、支出は182

4万円。収支147万円

の黒字。

年度を下回った。

賛成多数で認定

Q 財産管理費の需用費

で多額の不用額が出たが、

A 災害復旧予算を計上したが、被害がなかったため。

ため。

全員賛成で認定

2年度補正予算は、会

計年度任用職員の世界保

険料と健康診断委託料の

不足分8万4000円。

全員賛成で可決

元年度決算を認定

(後期高齢者医療)

8月28日、定例会開会。

同意3件、議案1件、認

定2件、承認3件、請願

3件を審議。

副広域連合長に安田守

氏(向日市長)と古川博

規氏(府副知事)を選任。

公平委員に上島勝廣氏(井手町)を選任。

全員賛成で同意

2年度医療特別会計補

正予算は10億9074万

円追加。

主なものは、繰越金や

返還金。

全員賛成で可決

元年度一般会計決算は

収入10億9596万円、

支出は8億8496万円。

収支2億1100万円の黒字。

元年度医療特別会計決

算は収入3706億47

22万円、支出は364

4億9822万円。

主な支出は保険給付費。

賛成多数で2件とも認定

東日本大震災で被災し

た被保険者に対する保険

料減免の適用期間を延長。

新型コロナウイルス感

染症に感染した被用者が傷病手当金の支給を受けられる。

元年度医療特別会計補

正予算は保険給付費1億

3000万円の増。

全員賛成で3件とも承認

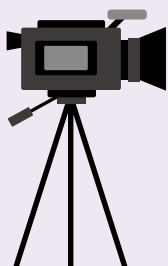
京都府後期高齢者医療保険料の引き下げと軽減措置・減免制度の拡大を求める請願。その他2件の請願があった。

請願3件は

賛成少数で不採択

## 市議会中継 スマホに対応

スマートフォン・タブレット端末からでも議会(録画)中継がご覧いただけます。



ぜひ、ご利用ください。

今後も、より開かれた議会を目指し取り組んでまいります。



<http://www.kizugawa-city.stream.jfit.co.jp/>

一般質問

17人が市政を問う



一般質問では、議員が調査・研究、住民の声や自身の考えをもとに 政策提言を行い、行政（市長）に方針や見解を問うものです。

答弁者の肩書きは省略しています。

**地域未来構想20 オープンラボ**

- 地域未来構想20の実施に当たっては、各分野の専門家との連携、既存施策や国の施策との連携、他分野の施策との相乗効果の追求などを強化することが重要ですが、そのような連携・追求を強化するために、「地域未来構想20 オープンラボ」を創設いたします。
- 政策分野ごとに、①当該分野に関心のある地方公共団体、②当該分野の専門家、③当該分野の関係者庁をつなぐことで、各地方公共団体における取組の検討・事業実施を支援します。

**地方公共団体**

- ・ 地域未来構想20の検討のために、各分野の専門家や関係者との意見交換をしたい。
- ・ これまでの取組について、何を改善すればいいか相談できる相手を探したい。
- ・ 地域未来構想20の実現に向けて、共に取組む各分野の専門家のパートナーを見つけたい。

**各分野の専門家**

- ・ 地域未来構想20の実現に向けて、各政策分野に関し、地方公共団体に提供可能な技術やノウハウを熟知したい。
- ・ 地域未来構想20の実現に向けて、共に取組む地方公共団体のパートナーを見つけたい。

**関係者庁**

- ・ 地方公共団体における地域未来構想20の実現を支援したい。
- ・ 地方公共団体を各分野の専門家による好事例の検証期を助たい。
- ・ 既存施策の改善・今後の新規施策の検討のために取組状況や課題等を助たい。

内閣府HPより引用

※「地域未来構想20オープンラボ」の取組については、詳しくは、内閣府地方創生推進課のホームページ（お問い合わせ先）をご覧ください。

「新しい生活様式」の助成金

- 「新しい生活様式」への施策は 感染及び拡大リスクの低減を重視**
- Q** コロナ禍の中での社会スポーツ活動の再開の見込みは。
- A 教育部** 今後の感染状況をみて慎重に判断する。
- Q** 地方創生交付金を活用し、新しい生活様式に対応する「地域未来構想20オープンラボ」
- A 教育部** 試験的運用後実施したアンケートの結果は、
- Q** へへの登録は。
- A 政策監** 制度活用に向け、現在、内部で調整中。
- Q** 休校中における双方向型のオンライン学習での課題は、解消されたのか。
- A 教育部** 試験的運用後実施したアンケートの結果は、
- Q** 中央図書館の移転は
- A** ①移動図書館廃止後の利用状況は。  
②新たに図書館設置の考えは。  
③返却ポストの増設は。
- Q** 中央図書館の更新時期に合わせ、利用しやすい場所に移動する考えは。
- A 教育部** ①おおむね横ばい。奈良市北部図書館は、年々増加傾向。  
②設置の考えはない。  
③利用者サービスの 일환として検討する。  
④市の長寿命化計画に沿って利用しやすい図書館となるように努める。



公明党 大角 久典



移住促進特区の指定を待つ瓶原

移住促進特別区域の指定はいつ

地元と協議を進めている



和みの会

炭本 範子

**Q** 瓶原が移住促進特別区域に指定されるのはいつ。住民の役目は

**A** マチオモイ 9月に申請、11月に審査、12月に指定予定。施策への協力と空き家の適正管理。

**Q** 府は条例を3月に改正する。地域振興

**A** 建設部・マチオモイ 延べ登録件数は15件、移住者8件、商談中が1件。現在、木津1件、加

**Q** やまちづくりを進めようとしている。その内容は

**A** マチオモイ まだ詳細は分からない。空家バンクの登録数は。

**Q** 建設部 ホームページや不動産サイトに情報を掲載する。

**A** 建設部 建設部 ホームページや不動産サイトに情報を掲載する。

**Q** 空き家の活用方法に民泊がある。インバウンド客を迎えるための宿は必要。コロナ収束後、交流、関係人口を増やし経済の活性化を図らねばならない。

**A** 市長・マチオモイ 京都やましろ体験交流協議会では当尾や瓶原での体験者を受け入れている。住環境の維持を図りながら、来訪、滞在を促進していきたい。

気になる子どもたちへの援助を

発達を把握し保育計画を立てる



日本共産党

西山幸千子

**Q** ①支援（加配）が必要な子の公立・民間園の受け入れ数は。②乳児の受け入れが少ないが、どのような対応か。③要支援児や「気になる子ども」の小学校へのスムーズな移行に援助を。

**A** ①支援（加配）が必要な子の公立・民間園の受け入れ数は。1・2歳児は6対1の職員配置で見守り対応が基本。③就学後を想定して経験を積む。学校と情報共有し、連携を密に取る。

**Q** 発達段階の途中で、障害がわかった場合の手立ては。

**A** 教育部 ①公立7園で25人、民間9園で25

**Q** 教育部 「障害児保育検討会議」で扱い、必要なら加配を行う。

**Q** 城山台小の課題解消は

**A** 教育部 ①来年1200人となる児童の登下校時の安全確保は。②校外の運動場やプールに移動す

**Q** 際のバス酔いなどへの対応は。③学校選択制のメリット・デメリットは。付帯決議の「学校選択」の前には、「保護者や地域住民と情報を共有」とし、意見をすくい上げることを求めている。

**A** 教育部 ①時差登校と見守りの強化など。②個別に対応。③不安解消につながる。デメリットは地域での友達づくり、通学の負担がある。

**Q** 建設部 ホームページや不動産サイトに情報を掲載する。

**A** 建設部 ホームページや不動産サイトに情報を掲載する。



今は992人、来年は1200人になる登校風景(城山台小)

コロナ対策と経済活性化策は

Eメール商品券で生活・事業者支援

**Q** ①全市民の生活支援と事業者支援のEメール商品券(一人5000円)への応募店数は。②啓発は。③75歳以上で運転免許返納者にコミバス無料証を。④65歳以上のインフルエンザワクチン接種を無料に。⑤小中学校の修学旅行等の実施

**A** マチオモイ①298店舗。②ポスター・シール・チラシ・ホームページ・広報紙等で。



和みの会

森本 茂

策は。⑥高齢者にタクシーの割引制度を。⑦住居確保給付金の申請は。⑧インフルエンザ予防接種にもEメール商品券を使用するように。

③④考えていない。⑤日帰り日本旅行業協会のコロナ対応ガイドラインを参考に。⑥公共交通協議会に提案する。⑦31件。周知を図る。⑧医師会と再調整する。

北別館とイベント実施策

**Q** ①北別館の職員配置は。②なぜ耐火構造でないのか。③来年の成人式のコロナ対策は。④今後のイベント実施と来年の夏祭りは。

**A** 副市長・教育部①検討する。②旧庁舎別館を再利用。③新成人のみの2部制でマスクと消毒の徹底。④感染防止策で実施検討中。



みんなでGo to オンライン

コロナ禍による教育現場の影響は

安全なオンライン学習を計画する

**Q** 教育機関の対策は。①オンライン授業の今後の取り組みは。②メリットとデメリットは。③新入生の不安感の払拭は。④不登校の状況は。⑤DVは増加していないのか。⑥教員業務は多忙になり、危機的状況にあるが、対応は。

**A** 教育部・市民部①小6・中3を優先し、タブレットとルーターを貸し出し、安全なオンライン授業を計画。②学習機会を保障し、学校に來られない子どもへの学習支援ができる。対面に比べ一人一人のきめ細かな指導は難しい。③学校に



れいわの会

伊藤紀味枝

行き渡る低学年児童が例年より多く、家庭と連携し支援する。④小学1・2年生で見られ、丁寧な対応が必要。他は減少。⑤増加傾向は見られない。⑥全小中学校にスクールサポーター等を配置。

木津駅東のまちづくりは

**Q** 木津駅東地区の将来を見据えたまちづくりの考え方は。

**A** 建設部 排水処理も含め、計画的な市街地形成に向けた検討を進める。現状が農振農用地であるため、すぐには進められないが、事業が動き始める前には、地権者の意向を酌み取るように努める。



みんなで活用して支援しましょう



避難者を本当に184人も収容可能か(いづみ保育園)

市のコロナ感染対応策は

感染者が出れば休校・休園し公表



日本共産党

酒井 弘一

**Q** 市内で新たな感染者が出た時の対応策として、①保育園、幼稚園、学校、児童クラブで感染者が出た時の対応は。②その際のPCR検査対象者は。③市内の検査体制と今後の拡充策は。④市役所や市の施設で感染発生時の対応は。⑤介

護施設、障がい児・者施設で感染発生時の対応は。⑥家庭内感染を防ぐための宿泊施設は。⑦避難所の収容能力は。また、体育館等にエアコン設置を。⑧春以降転入の妊婦にも特別給付金を。

**A** 教育部・健康福祉部 他①休校、休園し公

表する。期間は保健所の指示を受ける。②濃厚接触者は検査。③府全体で1日800人。山城南圏域に検査センターを要望。④専門家の意見を求め状況に応じた対策をする。⑤休業要請、消毒などの指導、助言、支援を行う。⑥京都市内に2施設、3

38室を確保。拡充計画が進められている。⑦指定避難所は57カ所。コロナ対策をした場合半分の8615人を収容可能。エアコン設置の計画はない。⑧4月28日以降の転入者は対象としない。

引きこもり支援の充実を

「チーム絆」と連携

**Q** 引きこもり相談支援窓口を設置して欲しいとの要望が市民から届いた。

設置する考えは。

**A** 市長 府の方で「チーム絆」を開設されている。相談に乗っている。

**Q** 「8050問題」をどう考えるか。

**A** 市長 全国的にも大きな問題になっており、痛いほど思えばよくわかる。

**Q** 京都市社会福祉審議会が引きこもり支援のあり方をまとめ、京都市長に提言。

部分のか全体にするか協議している。



みやこ創世会

河口 靖子

9月1日から全年代対象の相談窓口を開設された。市の考えは。

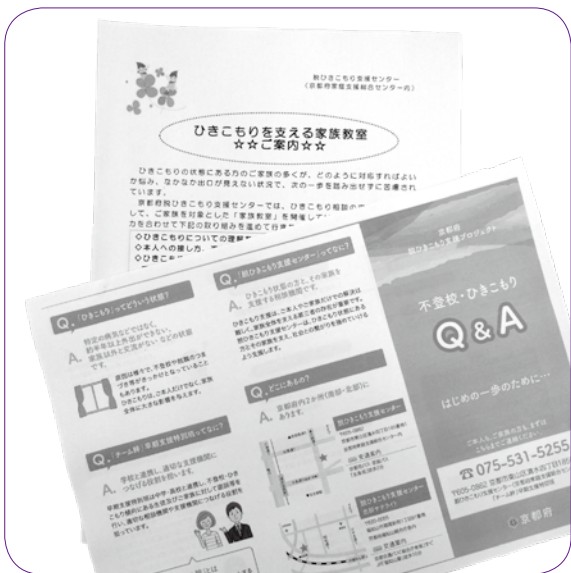
**A** 市長 総合窓口については検証しており、部分的か全体にするか協議している。

学校体育館の開放を

**Q** 学校体育館を市民に早く開放できないのか。市体育館の使用も満杯で希望通りサークル活動ができない状況だ。

他市町では使用できている。チェックリストを作成するなどして、早く開放を。

**A** 教育長 全体の感染状況の減少傾向を見据えながら、よく検討をしていきたい。



悩みを表に出せない家庭に温かい思いやりを

コロナ禍を乗り越え暮らしを支えよ

状況を把握し施策を考える

**Q** ①コロナ禍で市民生活の影響はどうか。②克服は長期の対策が必要。予算の完全執行を。③負担増の行革は凍結を。

**A** 副市長他 ①経営は落ち込み、観光客は昨年同時期の5割ほど。②教職員が確保できていない。乳幼児の個別健診、増の努力は。

**Q** ①少人数学級実施への国の動きと教育長の考えは。②教員と教室



日本共産党 宮嶋 良造

**A** 教育部 ①国は実施の方針。市は少人数教育や専科教育の充実に努力する。②府の少人数学級・授業で、学びを保障。

**Q** ①ごみの分別減量を市民の協力なしに進

まないのでは。②国は容器包装ごみとプラ製ごみの一括回収方針だが。③プラ製ごみは別回収に。

**A** 市民部 ①昨年度は1人1日20g減。コロナの影響で増えたが戻りつつある。ごみ袋収益で減量施策を図る。②一括回収は収集と処分費用の増加も課題。③有料袋で出してもらう。

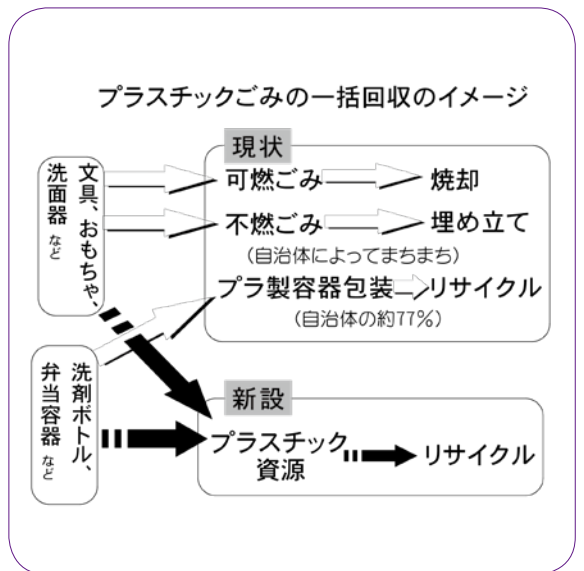
ごみ分別と減量を

①ごみの分別減量を

市民の協力なしに進

①ごみの分別減量を

市民の協力なしに進



容器包装とプラ製ごみの一括回収のイメージ



給食の地産地消に協力いただいている農家さん

城山台小に関して市の考えは

市全体で子どもの笑顔を守る

**Q** 8月1日時点で城山台小学校区の未就学児は1810人になつた。①令和8年のピーク時に児童数は何人程度に増えると予想しているのか。②ただちに、市長は総合教育会議を開くとともに学校協議会を設置し、保護者や地域住民と十分

**A** 市長・教育部 ①1850人程度になると考えている。②今後、必要になれば総合教育会議

を開き、教育委員会と協議を行う。③まだ作成していない。



無党派 山本しのぶ

を開き、教育委員会と協議を行う。③まだ作成していない。

**Q** 2年の新学校給食センターの稼働と共に地元食材の活用促進を図る

と、昨年9月議会で答弁

があった。①今年度の市内産の地産地消率は。②パブコメの結果にある物資選定委員会や献立作成委員会の設置の進展は。③給食モニタリング検査の継続予定は。④検査継続の予定はない。

**A** 教育部 ①21.23%だった。②必要に応じて設置を検討する。③検査継続の予定はない。

と、昨年9月議会で答弁





事業譲渡されたぬくもりの里(山城ぬくもりの里)

ぬくもりの里はどうなる

市が継続して支援していく



みやこ創世会

福井 平和

**Q** ぬくもりの里が本年8月31日に事業譲渡の事態となることを、市は把握していたのか。

**A** 健康福祉部 運営法人の京都南山城会から昨年10月、継続してサービスを提供することが困難との報告を受けた。利用者と職員を守り事業

継承できる運営法人を探すよう指導。譲渡の手続き等の助言を行ってきた。

**Q** 旧山城町と市は、どのような支援を行ってきたのか。

**A** 健康福祉部 市有地の無償提供と建設補助金を平成13年度から令和2年度にかけて20年間

交付。

**Q** 9月から社会福祉法人楽慈会による運営となったが、今後の市の関わりは。

**A** 健康福祉部 地域に精通した職員の積極的な再雇用や安定した介護事業の実施に向け、継続して支援していく。

3町合併の特例措置終了

**Q** 2年度で終了する普通交付税合併算定替の影響額は。

**A** 総務部 特例措置の終了で、3年度の交付額は6643万円減額。市財政は厳しくなる。

小中学校でのコロナ禍対策は  
手洗い・用具等の消毒を徹底

**Q** 中学校における部活動でのコロナ感染症予防対策は。

**A** 教育部 部活動は、6月中旬から感染症対策を徹底し、段階的に再開している。活動前後の手洗いや、共用する用具等は消毒を行っている。また、更衣室の利用時

間の調整をし、密を避けている。

**Q** 校外学習のコロナ対策は

**A** 教育部 8月、教育長から保護者宛てに修学旅行の中止、林間学習延期の文書が通知された。具体的によような会



れいわの会

高岡 伸行

議で決まったのか。

**A** 教育部 修学旅行は4月から小学校の校長会で協議を始めた。不確定な要素が多くあり、なかなか決定できなかった。8月18日に最終決定をした。

会に広島への平和学習等も含め、新しく見直しの検討が必要では。

**A** 教育長 各学校で、安全性、距離、経費の問題も含めて判断する。

また、更衣室の利用時

具体的によような会

**Q** 各小学校で行き先が違うが、これを機



コロナに負けない感染症対策

犬・猫の殺処分ゼロを目指せ

動物愛護の啓発を推進する

**Q** 奈良市で殺処分ゼロが達成され、大きなニュースとなった。

猫の繁殖制限手術費用の補助金制度は、費用対効果の期待できる事業であり、検討してはどうか。また、改正動物愛護法の施行を受け、市の方針は。

**A** 市民部 現時点で、創設予定はない。

動物愛護の啓発や地域での動物愛護ボランティア活動を支援するとともに、府と連携し、人と動物の共生する社会の実現を目指していく。



れいわの会  
谷口 雄一

**Q** 災害発生時にペットを連れての同行避難が推奨されている。具体的な周知が必要では。

**A** 総務部 飼い主の責任の下、一般の避難者とのトラブルが生じないように配慮いただく。市ホームページの内容を充実していく。

ウイズコロナ社会の到来

**Q** 新型コロナウイルス感染症との長期的な対応を見据え、市の将来像を指し示す「第2次木津川市総合計画」の見直しが必要では。

**A** 市長 行革とあわせ、ふるさと納税制度の大幅な刷新等により、税收確保を目指していく。今後の状況を十分に見極め、計画を達成できるよう努力していく。



事務手数料自動券売機の導入で業務キャッシュレス化を(沖縄県宜野湾市)

市政のDX推進を加速せよ

全庁的にスマート化に取り組む

**Q** 国の新型コロナ対策、地方創生臨時交付金3兆円の市の取り組み、特にデジタルトランスフォーメーション(DX)について。

①市への交付額は、②具体的な政策は。特に、窓口業務のキャッシュレス化と庁内ペーパーレス化を進める

べき。③全庁的なデジタル化推進の仕組みを作るべき。

**A** 政策監・教育長 ①交付限度額9億515万円。②グーグルとの提携を活かしてデジタルマーケティングを進める。キャッシュレス化は端末を設置予定。ペーパー



れいわの会  
森本 隆

**Q** 新型コロナウイルス感染症対策の市の取り組みについて。

①医療体制の強化計画は。②PCR検査機を購入し発熱外来の強化を図れ。③介護施設等にもリモートでの面会の導入の予定は。

**A** 健康福祉部 ①新たな宿泊療養施設の確保、病床数増床を調整中。②山城総合医療センターで購入を検討中。③補助金を活用し導入を支援。

動物の遺棄・虐待は犯罪です。

罰則が強化されました。

●愛護動物を殺傷した場合は5年以下の懲役または500万円以下の罰金  
●愛護動物を遺棄した場合は1年以下の懲役または100万円以下の罰金

環境省 警察庁

改正動物愛護法施行(令和2年6月)



おくやみコーナーの設置を(奈良市)

包括的な支援体制を

一体的な実施に向け府と連携



公明党

柴田はすみ

**Q** 減少が進む中、個人や家族が抱える生きづらさやリスクが複雑化した「8050問題」「ダブルケア」等、大きな問題となっている。①市の相談支援体制の現状は。②先の国会で、包括的な相談支援、地域に参加の支援

**A** 少子高齢化や人口の3つを一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」が新たに創設されたが対応は。

**健康福祉部** ①相談内容により関係する担当課が対応。②第3次地域福祉計画により、相談窓口の情報の周知、社協

の支所にコミュニティインシヤルワーカーの配置など。事案によっては、各課連携すべきところは連携して対応していく。

**Q** おくやみ窓口の設置を

家族で、特に世帯主が亡くなられた後

**Q** 「お悔やみハンドブック」が好評と聞いている。市でも作成している。

**A** 市民部 先進事例も含め調査し作成する。

ツインデミック対策を急げ

感染拡大を可能な限り抑制

**Q** 症状の見分けがつきにくいコロナウイルスとインフルエンザが、同時流行する懸念が高まる。多くの対応は保健所だが、市も独自で早急

**A** 健康福祉部 相楽医師会とも連携して取

**Q** 来年度の税収は、国・地方とも大幅減が予想される。財源不足は、過去最大だったリー

**A** 総務部 市単独事業は、見直しも含め影



和みの会

高味 孝之

響が出る。内水対策は、国の予算編成に注視し対応する。

**Q** コロナ対策に準備費の増額が必要ではと考える。

**A** 総務部 検討すべき

**Q** 京奈和自動車道の進入防止対策は。

**A** 総務部 進入禁止の規制標識設置に向け協議する。

**Q** 自動車の逆走を防げ

**A** 京奈和自動車道の進入防止対策は。

**Q** 京奈和自動車道の進入防止対策は。

**A** 総務部 進入禁止の規制標識設置に向け協議する。



ストップ・ザ・逆走(京奈和道 木津出口)

企業版ふるさと納税の活用を

寄付の獲得に繋げていきたい

**Q** 以前から提案してきた企業版ふるさと納税制度を活用するためには、地域再生計画が内閣総理大臣の認定を受けなければならない。

財源確保への意気込みを結果で見せてほしいが、進捗状況は。

**A** 政策監 8月21日付で内閣府の認定を受け、寄付による法人の税負担の軽減制度が本市も対象となった。

**Q** 個人版ふるさと納税は返礼品が寄付を活性化させた。企業版では返礼品合戦とならないように国も考えていると

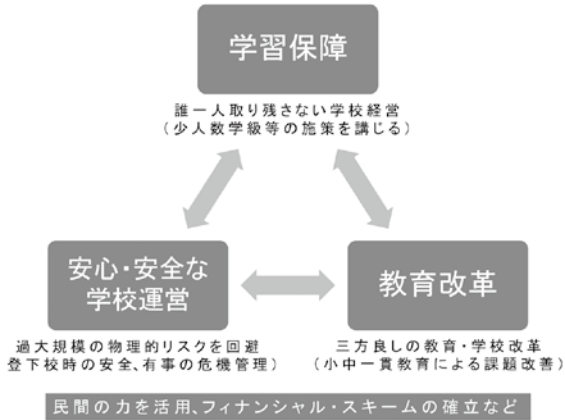
**A** 政策監 地方創生の取り組みに共感・共鳴していただけるような事業の精査を進めるとともに、寄付をいただいた企業の広報を積極的に行うなど、一定のメリット



れいわの会  
兔本 尚之

を感じられるような方法を検討している。企業に直接出向いて市の取り組みを説明するなど積極的なPRを行い、寄付の獲得に繋げたいと考えている。

過大規模校の課題改善に向けての提言



次世代を担う子どもたちが、健やかに育む施策を

過大規模校での学習保障と安全はピーク時を見通した施策を講じる

**Q** 過大規模校が故に行事・活動に制限が生じないか。自然観察に問題があると聞く。本当に問題はないのか。

**A** 教育部 教室内での学びは規模により差はない。自然観察については、工夫次第で対応可能と考える。弊害が出

ていることへの検証は、しづらいつころである。

**Q** 国では学級の定数30人未満について議論。過大規模校において定数減への対応は。

**A** 教育部 他校についても随分と弊害がでると考える。クラス数のグループ化による小規模学

習なども検討する。

**Q** 500人もの生徒が城山台から木津中へ自転車通学。安全対策、有事の際の危機管理は十分か。

**A** 教育部 適宜、安全な通学路を検討。スクールガードリーダーの協力も得る。また、城山



れいわの会  
玉川 実二

台通学路安全対策会議でも継続的に対策を検討。

**Q** コミュニケーションを十分に取って、市民に開かれた市政、市民不在の行政を改善すべきと考えるがどうか。

**A** 教育部 過大規模校であつても学習に支障があつては決してならない。市長、議員の理解を得て、教育委員会での創意工夫により施策を遂行していく。

採決結果		議案名(第3回定例会)						
		元年度一般会計歳入歳出決算の認定	元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	元年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	豊かな学びの保障を求める請願	コロナ禍のもと子どもたちの命を守り、豊かな学びの保障を求める請願	国民のいのちと健康を守るために医療機関に必要な財政支援を求める意見書	コロナ禍のもと子どもたちの命を守るため、学びの環境整備を求める意見書
議員名	会派名							
玉川 実二	れいわ	○	○	○	×	×	×	
兎本 尚之	れいわ	○	○	○	×	×	×	
谷口 雄一	れいわ	○	○	○	×	×	×	
森本 隆	れいわ	○	○	○	×	×	×	
高岡 伸行	れいわ	○	○	○	×	×	×	
伊藤紀味枝	れいわ	○	○	○	×	×	×	
倉 克伊	れいわ	○	○	○	×	×	×	
森本 茂	和み	○	○	○	×	○	×	
長岡 一夫	和み	○	○	○	○	○	○	
炭本 範子	和み	○	○	○	×	○	×	
高味 孝之	和み	○	○	○	○	○	○	
酒井 弘一	共産党	×	×	×	○	○	○	
西山幸千子	共産党	×	×	×	○	○	○	
宮嶋 良造	共産党	×	×	×	○	○	○	
大角 久典	公明党	○	○	○	×	×	×	
柴田はすみ	公明党	○	○	○	×	×	×	
福井 平和	みやこ	○	○	○	×	×	×	
河口 靖子	みやこ	○	○	○	×	×	×	
山本しのぶ	無会派	×	×	○	○	○	○	
山本 和延	議長	—	—	—	—	—	—	
採決結果		認定	認定	認定	不採択	否決	否決	

れいわ=れいわの会 和み=和みの会 共産党=日本共産党木津川市議員団 みやこ=みやこ創世会 無会派=会派に属さない議員

## 令和2年 第4回(12月)定例会予定

月	日	曜日	会議・委員会	場所
11月	24日	火	議会運営委員会(議会招集告示)	全員協議会室(5階)
12月	1日	火	本会議(開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等	議場(6階)
	2日	水	本会議 (予備日)	議場(6階)
	7日	月	総務文教常任委員会	全員協議会室(5階)
	8日	火	厚生常任委員会	全員協議会室(5階)
	10日	木	産業建設常任委員会	全員協議会室(5階)
	11日	金	補正予算特別委員会	全員協議会室(5階)
	14日	月	本会議 一般質問	議場(6階)
	15日	火	本会議 一般質問	議場(6階)
	17日	木	本会議 一般質問	議場(6階)
	18日	金	本会議 一般質問	議場(6階)
	21日	月	議会運営委員会	全員協議会室(5階)
	22日	火	本会議(閉会) 議案採決等	議場(6階)
23日	水	本会議 (予備日)	議場(6階)	

- ・日程については、変更になる場合があります。
- ・本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行われ日程が確定します。
- ・インターネットで市議会の生中継をご覧いただけます。新型コロナウイルス感染拡大防止のためにもぜひご利用いただきますようお願い申し上げます。
- ・議会日程の他、今までの本会議の模様や会議録について、市のホームページ(市議会)から閲覧いただけます。

# わたしの意見

このコーナーへの投稿をお待ちしています。(220字以内)



長野 博行 さん  
(南加茂台)

## 市議会を傍聴して 気になる問題

行政当局には、各議員の質問等についても経過説明だけで済ませようとする根拠論不在の答弁が当該とするスタンスが透ける。6月議

会での議論。城山台小学校の児童数増大に対応するべく校舎増築が提起されるも、その場所がなんと、教室の3階窓からは現プールが見える隣接地。  
さて、問題は「なぜそこなのか」だ。全国のどこに、公衆の面前に晒されている(教育施設としての)プールがあるというのか。「カーテンを閉めればイイ」ではない。教育上の常識ではないかと。

## 編集後記

9月定例会では令和元年度決算、2年度補正予算などを審議しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底して行われました。中でも決算特別委員会は、3密にならないようにいつもの半数の委員で構成し、審査しました。行事が中止の中で、紙写真には苦慮しましたが、分かりやすい紙面へと努力しています。

変わり、国民のために働く内閣を明言されているので大いに期待したいものです  
大角 久典

広報編集委員会  
委員長 柴田 はすみ  
副委員長 森本 隆  
委員 玉川 実二  
委員 森本 尚之  
委員 大角 久典  
委員 福井 平和  
委員 西山 幸千子  
一方、国では総理大臣が



尾崎 一彦 さん  
(木津川台)

## 気候非常事態を 宣言しよう

近年、豪雨や猛暑などの異常気象が頻発しており、地球温暖化との関連が取り沙汰されています。世界の国々はパリ協定を結び、世

界の平均気温の上昇を1.5度未満に抑えるため、2050年までにCO<sub>2</sub>排出量の実質ゼロを目指しています。省エネルギー、再生可能エネルギーの利用促進が必須だと思えます。  
わが国の100を超える自治体が気候非常事態を宣言し、パリ協定の目標実現に取り組んでいます。今年はその環境基本計画改訂の年です。環境危機を見据えて、宣言を発しましょう。



中川 亜紀子 さん  
(山城町平尾)

## 人との繋がりが 生きる力に

山城町に住み8年になります。夫婦共にこの地に縁は無かったのですが、「子育てサークルりんごちゃん」に誘っていただき、3人の

子どもを連れて参加。スタッフも経験し、たくさんの友人と繋がりました。活動する中で、子育てに、また毎日の生活を頑張ろうと思え、子どもだけでなくお母さんにとっても大切な場だと感じました。  
今、早期入園やコロナ禍で参加者が減少。さまざまな対応が求められる中で、この温かい場が残るよう頑張りたいと思います。皆さまもぜひ利用してください。

## お知らせ

12月定例会は12月1日(火)からはじまります。  
詳しい日程は、21ページをご覧ください。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局まで一報ください。

### 議会事務局直通

0774-75-1240

0774-72-8952

E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp